

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和5年6月26日（月）
- 2 確認箇所
多核種除去設備等処理水 測定・確認用設備
- 3 確認項目
多核種除去設備等処理水の試料採取状況

4 確認結果の概要

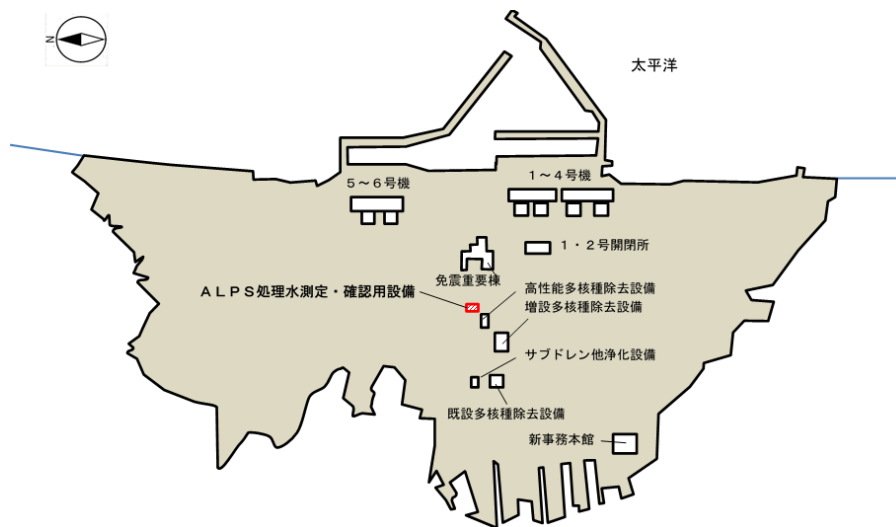
多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）の海洋への希釈・放出に際して、東京電力は、希釈前のALPS処理水の放射能濃度や水質を測定し、トリチウム濃度以外、法令上の基準を満足することを確認することとしている。（トリチウムは海水で希釈して法令上の基準を満足させる。）

東京電力は、測定・確認用設備であるK4タンクエリアのB群に貯蔵しているALPS処理水のサンプリングを3月に行い、放射能分析及び水質分析を行っており、6月22日に分析結果が公表された。

今回、前回と同様にK4タンクエリアのC群に対して6日間の循環攪拌運転が行われ、タンク群における均質化が実施された。本日は、東京電力がC群のALPS処理水試料を採取することから、その状況や手順を確認した。

（図1）（前回確認：令和5年3月27日）

- ・試料採取は、B群の試料採取の際と同様、循環ポンプが設置されている建屋において、試料採取専用の系統から行われた。（写真1）
- ・試料採取の際、配管のフラッシング（配管内部の水の除去）が行われた後、測定対象や、測定機関ごとに容器を分けて試料の採取が行われていた。（写真2）
- ・試料採取時間（＝試料採取終了時刻）が確定した後、各容器には、採取時間、資料名等を記載したラベルが貼り付けされていた。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
試料採取の状況



(写真2)
採取された試料の状況



(写真3)
試料ラベル付けの状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。